

2025 11 /21~25
清光院下のギャラリー

φ ひびきあうもの vol.14

森にふれる



自分のからだを真ん中にしてふれる。ふれているわたしにやってくるもの。外から色々な味わいをとれないやってくるもの。耳をすませて目をこらして指先に、背中に、頭のとっぺんを通り過ぎる風。皮膚に当たるのは刻々と変わる時の流れ。知ることなく、訪れる森の語らい